

五社山の恵みの

水

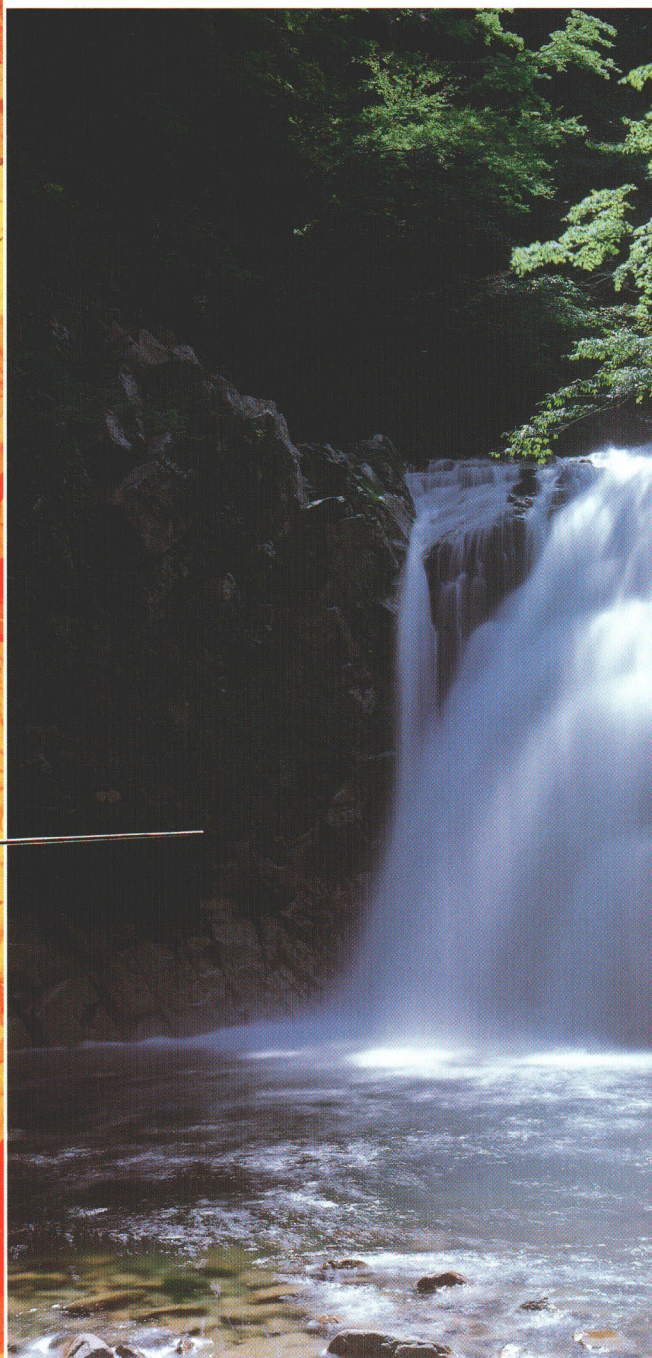
は山川海へと注ぐ

五社山から流れ落ちた水はやがて浅見川になります。清冽となった浅見川は豊かな自然の恵みとともに、太平洋に注がれます。この自然の原理は多くの人々を楽しませ、町民の憩いの流れになっています。



浅見川溪谷と大滝

阿武隈山地から東流し、広野町を横断し太平洋にそそぐ延長21キロの浅見川。上流に行くに従い奇岩怪石とうっそうたる新緑に包まれた溪谷です。また、堀切地内にある大滝は、清冽な流れと勢いのある水量で見る者を圧倒し、手前には石を積み上げて創られた大滝神社が奉られています。



浅見川溪谷は春は新緑と山桜の競演が、夏はカジカやセミの音が響きわたり、秋は山々が燃えるような紅葉に彩られ、人々の水遊びや芋煮会・茸採りなど憩いの川として親しまれています。また、浅見川は浅瀬が多く、アユやヤマメ・イワナなどの豊庫として、多くの釣り人が渓流釣りを楽しんでいます。